

周年で彩る日本の花！

盆需要に向け「菊」出荷ピーク！

【8月5日（月）／碧南市内で収穫風景を紹介します】

J Aあいち中央菊共選組合（組合長：斎藤則夫）が栽培する菊が、7月下旬から出荷の最盛期を迎えています。

碧南の菊は白の輪菊を主体に、時期に合わせて品種を変え、周年で栽培しています。葬儀用・仏花用の菊を中心に栽培しているため、コロナ禍以降、葬儀の縮小、家族葬の定着等で大きな影響を受けていますが、葬儀や仏花以外の用途でも親しんでいただけるように販路を拡大しています。

菊は元々縁起物の花とされており、花持ちの良さから葬儀で使われるようになったとされます。生活様式が変わり、葬儀や墓前でしか菊を見ることがなくなったために現在のイメージが定着しました。近年では、染色した様々なカラーバリエーションの菊をブライダルやフラワーアレンジメントでも使ってもらえるようにPRしています。

今作は、5月下旬から6月中旬に菊が生育しやすい気温（20℃～30℃）が続き、若干の前進傾向にあります。病害虫対策では、各生産者が換気や防除など適切な圃場管理を行い、例年通りの良好な品質の菊を出荷しています。



菊は、つぼみの状態で収穫されます。

碧南市内で栽培している品種

碧南市内では白の輪菊を主体に周年栽培を行っており、5月下旬から11月中旬は「精の一世」、11月上旬から5月下旬は「神馬」と、時期に合わせて品種を変えて栽培しています。

J Aあいち中央菊共選組合

組合員：7人
 栽培面積：約3ヘクタール
 出荷時期：周年（最盛期：7月下旬～8月下旬）
 総出荷量：約170万本（全品種計）
 流通先：東北・関東市場（7割）、中京市場に出荷しています。

<メディア対応日>

日時：2024年8月5日（月）午前8時45分

集合場所：J Aあいち中央碧南みなみ支店
 （碧南市塩浜町7-115）

※当日は、菊圃場（車で約5分移動）で収穫作業と生産者へのインタビューを、J A選花施設（車で約20分移動）で選花・梱包作業を撮影いただけます。

※天候や作業状況等により、日時・場所が変更になる場合があります。



菊はJ A選花施設に持ち込まれ、丁寧に選別されます。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（山村、杉浦、細井）

TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp